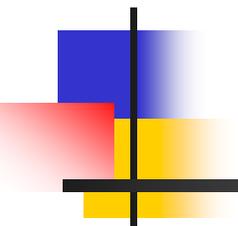
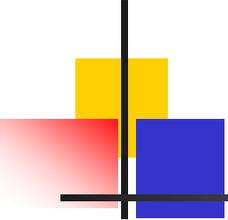


三条市バイオマスタウン構想 (概要)





バイオマス利活用の方向性

1 【堆肥化】(既存事業者主体)

給食残渣をベースとして、剪定枝などと混合し商品化⇒販売
下水汚泥、し尿汚泥については既存施設・ルート対応

2 【廃食用油の燃料(BDF)化】(市民主体)

家庭から回収⇒モデル地区で実施⇒拡大
調理場からの搬出先変更⇒地域内利用に向ける

3 【木質バイオマスの燃料(ペレット)化】(新しい事業者主体)

間伐材、剪定枝(堆肥余剰分)⇒ペレット化⇒公共施設ボイラー
(地域での消費規模により、ペレット加工施設整備を検討)

4 【エネルギー回収】(新ごみ処理施設による熱回収)

家庭系生ごみ、し尿汚泥による助燃効果⇒エネルギー回収

堆肥化の推進イメージ

地産地消

食育の推進

地域ブランドの創出



学校給食等に利用
安全・安心な食材



有機栽培作物

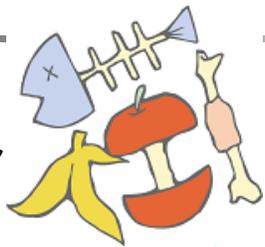
収穫



堆肥を使つての
有機農業

環境保全型農業の推進

生ごみ



ごみの減量化

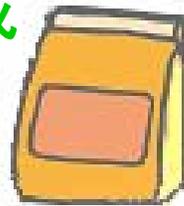
資源回収



産業の育成

堆肥化施設

堆肥化



良質な堆肥
(用途別商品化)

販売



家畜排せつ物

回収

水分調整材



剪定枝堆肥

もみ殻

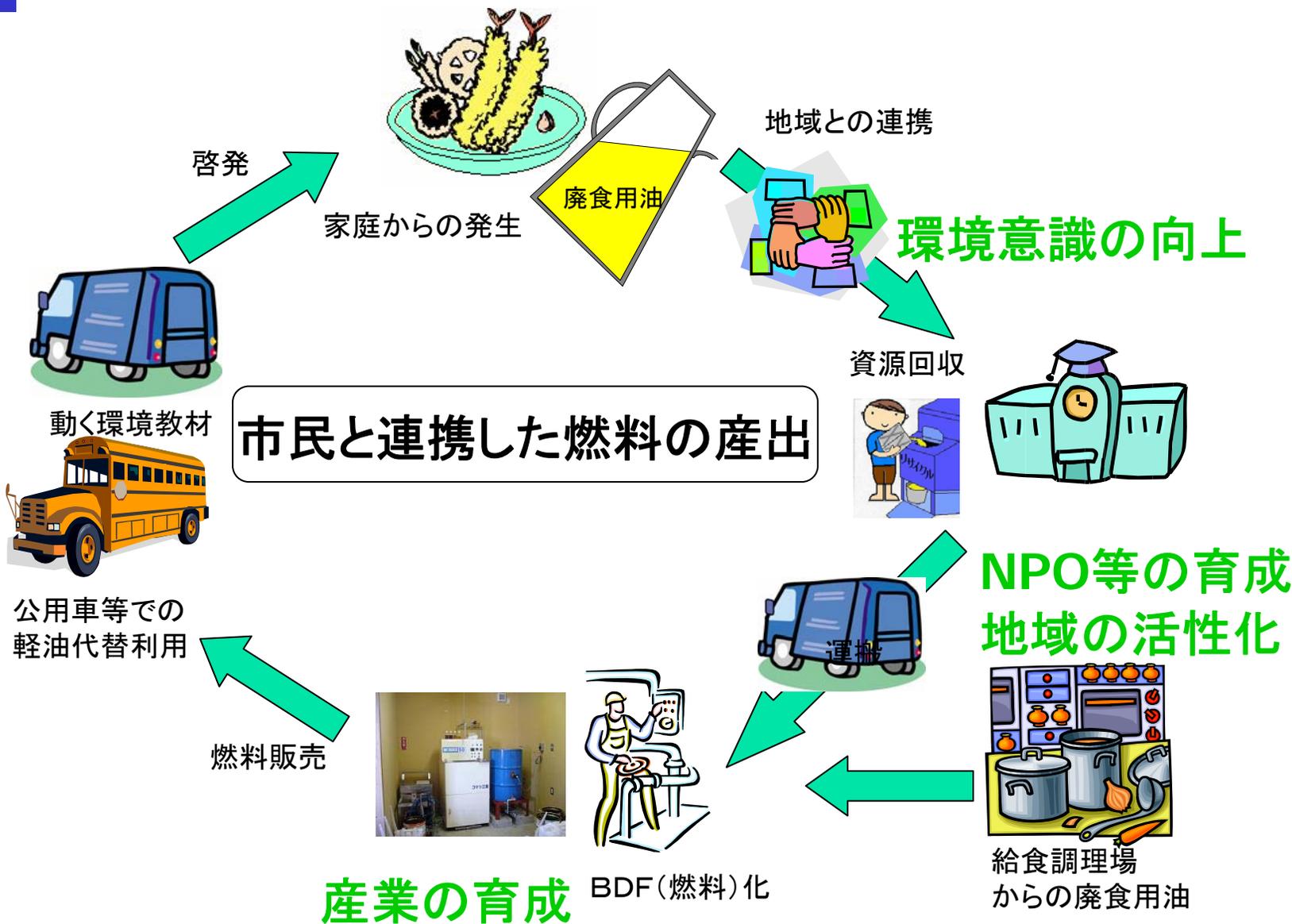


緑のリサイクル
センター

BDF化の推進イメージ

クリーンエネルギー

地球温暖化防止



木質ペレット化の推進イメージ

NPO等の活性化



里山保全



間伐作業



林業の振興
雇用の創出

資源回収



木質燃料化施設

堆肥化余剰分

エネルギーの地産地消

啓発・普及

環境教育の推進



公共施設にペレット
ストーブ・ボイラーの導入(需要拡大)

地球温暖化防止



ペレット商品



薪



剪定枝処理施設